

ストックヤードを活用した民・国 協調出荷の横展開

石狩森林管理署

 温井 和樹
久慈 正志

研究の背景・目的

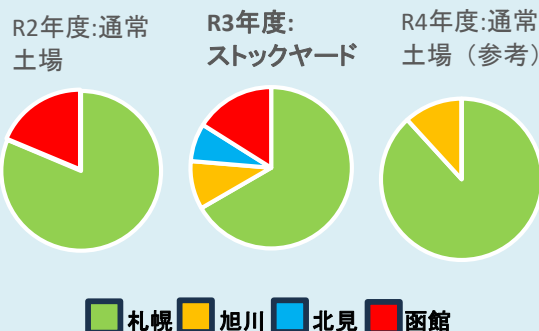
積丹地域森林整備推進協定のストックヤードで令和3年度に民・国協調出荷に取り組んだところ、札幌圏のみならず他圏域からの応札もあり販路が拡大し、民有林の搬出間伐が可能となりました。赤井川村においても、新たなストックヤードの設置により、赤井川地域森林整備推進協定に基づく木材の協調出荷の実現を図り、赤井川地域民有林の整備推進の一助となるよう取り組んでいます。

研究の内容・成果

● 積丹町におけるストックヤード設置効果

令和3年度に設置した「野塚ストックヤード」は、トレーラーがバック・転回なしで利用でき、入札参加事業者の範囲・数が増加。（令和5年度 口頭発表済）

〈入札参加事業者の所在圏域〉



上空から見たストックヤード(4.78ha)



ストックヤードでの極積状況

● 赤井川地域森林整備推進協定への展開

冷水峠周辺の村有林と国有林で構成する「冷水峠施業団地」では、近隣の遊休村有地において、令和7年度にストックヤードを整備するため、村と署が共同で設計・測量、立木調査などを実施中。令和8年度に民・国での木材の協調出荷を実施する計画。

令和6年度の取組状況

- ① 第1回運営会議などで村長へストックヤード候補地を相談
- ② 村より候補地提示1回目（不調）
- ③ 村より候補地提示2回目（候補地決定）
- ④ 候補地決定後RTKドローンによる現地測量を実施
- ⑤ 赤井川村・積丹町合同でのストックヤード現地検討会（積丹町野塚、婦美地区）
- ⑥ スtockヤード作設に当たっての協議及び調査（運用方法や区域選定の協議及び立木調査などを複数回実施）
- ⑦ 現在、赤井川村議会承認後予算要望、令和7年度予算措置後に貸付契約及び設置工事を実施予定



（ストックヤード候補地のドローン測量）



（ストックヤード候補地の赤井川村職員との合同森林調査）

（令和8年度）

村有林の森林整備（間伐）に合わせ、民国協調出荷の実現を図る

今後の展開

国有林材と村有林材の協調出荷の実現だけでなく、将来的には赤井川村の私有林からの出材も対象とすることを見据え取り組みます。